



昨年 12 月 27 日、国が柏崎刈羽原発 6, 7 号機に 合格を出した新規制基準とは？

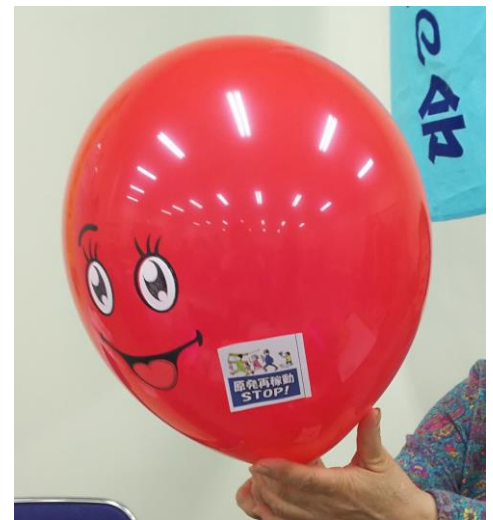
「世界最高は論外」

①耐震構造だが、免震構造ではない。

「緊急時対策所」がある 5 号機は、機械が守られる耐震構造だが、揺れが伝わらない免震構造ではない。地震に揺られながら冷静に事故対応の判断ができるか疑問。

②原発内の全ての原子炉を審査していない。

6、7号機のみ審査。原発内にはほかに 5 基あるが、それらは審査していない。欧州では 3.11 後、原発内の全ての原子炉が同時に事故を起こすことを前提に評価するようになってきているが・・・。



2017.11.19 地域活性化イベント
『あきいろ縁日 2017』～家族みんなが楽しい日～で子供たちに配った風船

国の審査に合格しました。
柏崎刈羽原発は
安全になったと思いますか？

安全	安全ではない
7	130

同じく『あきいろ縁日 2017』で行ったシール投票の結果

③事故時に人が駆けずり回る。

事故時に冷却装置を取り付けるために人が現場を駆けずり回るもの。欧州では安全対策にいかにか人の手をかけないようにするかを重視しているが・・・。

「原子力コンサルタント 佐藤暁氏」
米 GE に勤務、柏崎刈羽原発の元起動試験責任者

(新潟日報 2017.12.28 より)

さらには、この審査基準は福島事故の検証がまだ済んでいない状態で作られた審査基準であり、また避難計画やミサイル攻撃への対策は審査の対象ではありません。「安全と言えるものではない」との前規制委員長の発言の通りの基準なのです。

上越市策定「原発事故避難計画」等への質疑応答

(2017.8.23 上越市役所にて 原子力防災対策室長・吉田氏が応対)

30 キロ圏の外に放射性物質が飛んできた時の

避難先や避難方法などは、策定されていません。

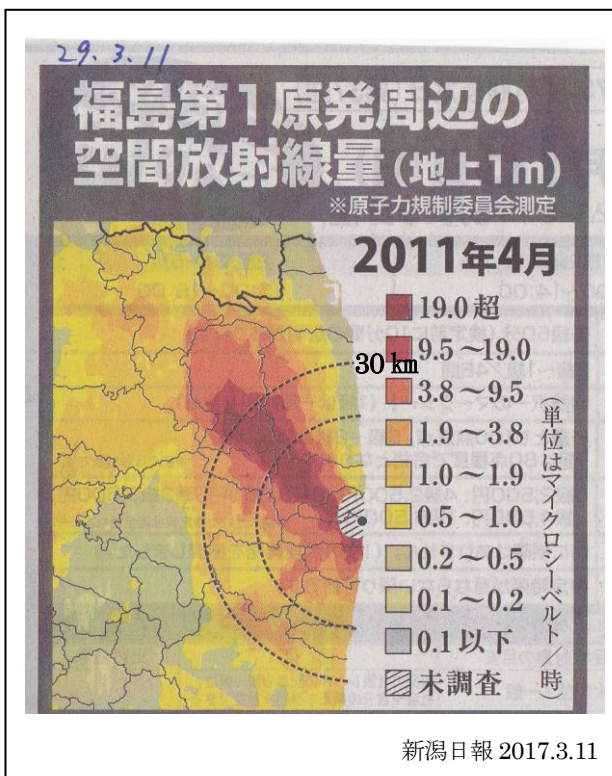
さらには、「今後も策定する必要はない」

と言い切る上越市。

これでいいのでしょうか??

⇒ 福島を見れば放射性物質は 30 キロでとどまらないことは明白。

そして、『原発から 30 キロ圏の外も放射線量によって避難を実施する』と計画にあるにもかかわらず、避難先や避難方法を策定せずに混乱時にどうやって避難するのでしょうか・・・。



2017年4月に「はるいろ縁日」にて「避難計画知っていますか?」というシール投票をおこなったところ「知らない」の回答が9割と圧倒的多数でした。それで上越市に説明会を求めたのですが断られ、こちらから出向いてお話を伺うことになりました。県内各地の自治体に避難計画の質問を行っている「さようなら柏崎刈羽原発プロジェクト」もご同行いただきました。市は停止している原発の危険性は認識しているようです。被曝を防げる避難計画か?の質問には「無用な被曝を防ぐ」「国の指針に基づいている」との回答でした。30キロ圏外の危険性の認識を問う質問に対しては、具体的な認識をお話しいただけませんでした。福島を直視せず具体的な想定ができていないということです。県内全市町村による研究会に参加して避難計画の実効性を高める努力をされているのも事実ですが、福島や30キロ圏外などをなおざりにし、「30キロ圏内から30キロ圏外へ移動させました、ハイ終わり」という感覚では市民を被曝から守ることは到底できないと感じました。

避難計画の周知徹底を求めたところ、「秋に避難訓練を実施するのでその時に」とのことでした。しかし、この訓練、やはり30キロ圏内だけ(上越市全人口の約8%のみ)。しかもほとんどが「屋内退避」の訓練で、移動するいわゆる避難訓練は数十人のみ。30キロ圏内だけでも1万5千人もいるのに・・・。まずは「30キロ圏内」にまずは「屋内退避」を徹底させるそうです。30キロ圏内にとどめ、屋内にとどめさせる、それで「被曝」を防げるでしょうか。木造家屋での放射線遮蔽率はたったの10%だそうです。

福島からのメッセージ

七年ぶりのふるさとは・・・

南波ミキ子

(上越市在住)

私のふるさとは福島県浪江町です。

あの日以来住めなくなったふるさとに昨年春より帰還が始まりました。

住める地域は中心部の線量の低いごく一部で、郊外はゲートで通行できない所もあります。町の発表では昨年末に三百人位帰ったとありますが、実際に住んでいるのは百九十人位だそうです。医院や交通機関・少ない商店がネックとなり、なかなか決心がつかないのかなと思います。



イノシシが開けたドア。中が見えます。

それと野生動物が増えて我物顔で歩いているそうです。実家の母家は壊して更地になりましたが、同じ敷地にある息子達の離れの勝手口に去年イノシシが体当たりで突っ込み、大きな穴があき中がめちゃめちゃに荒らされたそうです。そんな風でこの家も壊すことになりました。

実家の兄達は何度も避難所を転々とし、なれない土地で暮らしてました。いずれふるさとに小さな家を建てて余生を過ごす事を楽しみに夢みてましたが、昨年二月に帰らぬ人となりました。どんなにか心残りだったかと思うと、原発さえなければと悔やまれます。

昨年十二月に兄の法事があり、七年ぶりにふるさとに帰りました。浪江の町を通りましたが、あまりの変わりように呆然としました。町の中の家はほとんど人が住んでいる様子がなく草ぼうぼうであちこちめちゃくちゃに荒れた家を見ると本当に廃墟といった感じです。

高速で上越から浪江まで結ばれており、郡山から所々に放射線量を示す電光掲示板が立っております。参考までにメモしてきました。郡山 1.3 いわき 0.1～3.3 富岡 0.4 富岡中心 1.4 大能 0.9 双葉 3.3 浪江 0.6 です。原発のあるところ・除染の有無により開きがあり、まだまだ安心できる数値ではありません。

そんな訳で実家の家族は浪江には帰らないと決めました。今までの住んでいる所で落ち着いたので今更不便な所へは行かないそうです。私の同級生のほとんどの人も避難先に家を建てたり住宅を買い永住する覚悟です。苦肉の策で町長は役場職員全員を浪江に住ませる様にするとの事です。

ただ生まれ育ったふるさとの復興を誰もが願っていますが、現実には厳しく果たしてどの位かかるのか・・・見守っていきたいと思います。浪江には先祖のお墓があり、元気なうちは墓参りに訪れ、復興を自分の目で確かめていきたいと思います。



更地にした証拠のプレート

以上、七年ぶりのふるさとは余りにもショックで皆様にこの現実が伝わればと思っています。

内部被曝から守るために（第13回）

「生協からの食品購入という選択肢」

昨年、福島県発表の情報によれば手術で154人が甲状腺ガンと確定したとあり、大変憤りを覚えます。このコーナーでは様々にお伝えしてきましたが、国や自治体が依然として上限100ベクレルの高い基準で一般食品の流通をさせている現状では、私達ができる限りの独自の対策をしなくてはならないと思います。

ひとつの方法として、生活協同組合からの食品の購入も考えるべきです。組合ではゲルマニウム半導体検査機で定期的に放射能を測り公表しています。私達には知る権利があるはずで、できるだけ添加物のない食品を選び、良い素材を体に入れるようにして、毒素排泄の力をつけることも大切だと思います。(K.O)



私の思い



子や孫にきれいな地球を残したい

田村厚子（上越市高田）

昨秋の秋色縁日で柏崎刈羽原発の安全性についてシールアンケートを行いました。沢山の方が参加されましたが、お子さん連れの若いお母さんにお声掛けしたところ「私の主人はそこで働いています。あの原発は安全です」と仰って立ち去られました。福島原発事故後、万が一の為の設備を増設したり訓練も行われ、安全度は以前より上がったかもしれませんが、しかしどんな災害が襲っても絶対安全なのでしょうか？

でもそれ以上に私が原発廃止を訴える理由は、原発を稼働する事によって生まれる核のゴミです。日本では未だ確実な処理方法がありません。このどうしようもない負の遺産をこのまま何百年、何千年後の子孫に残していいのでしょうか？今なんとかしなければ…

プロフィール 従業員数人の会社を夫と営みながら愛犬を連れてのボランティアに参加。犬と本人の老化で引退後、体を造る食に関心を持ち脱原発運動に参加

◇編集後記◇

▼会報誌「つなぐ」の新年号です。新年を迎えて思うのは、原発の廃炉、中止がただ一つの目的で集まった私達、その達成の為には党も派閥も地域も越えて強く連携しなければ…という事。何千、何万年後の子孫に手に負えない遺産を残さない為に(A・T)

村山上越市長の考え

2017年10月の市長選の際に当会の質問に以下のように答えています。こちらは要約です。全文は当会ホームページをご覧ください。

Q1. 停止している現状の柏崎刈羽原発の危険性への認識は？

A. 使用済み燃料が低温状態で燃料プールに保管された状態にあるものの、直下型地震やテロ攻撃による被災などのリスクがゼロとは言えない。

Q2. 上越市策定の現在の避難計画で被曝は防げるか？具体的な問題点は？

A. 必要最低限のもの。中々市民の意識にまで至っていない。要配慮者の避難や避難退域時検査、安定ヨウ素剤の配備などが課題。

Q3. 福島原発事故をどうとらえているか？Q4. 原発そのものについてどのように考えているか？

A. 現在、新潟県において原因の検証が行われている。2017年2月、福島第一原発を視察し、周辺地域における惨禍と処理に係る膨大なコストを鑑み、原発の将来的な廃炉に向け、国が責任をもって道筋をつけるとともに、正確な情報を提供し、国民の不安を解消しなければならない。

Q5. 柏崎刈羽原発が国の審査に合格した場合に再稼働を認めるか？

A. 県の検証が済むまでは、再稼働の議論はできないということが県民の意思。

Q6. 国の審査に合格し、県の検証が済んだ場合に再稼働を認めるか？

A. 県による検証の結果を受け、議論がある。廃炉に向けた計画が前提。

Q7. 再生可能エネルギーの導入についての具体的政策は？

A. (前) 任期中に再生可能エネルギー導入計画を策定。今後は「エネルギーの地産地消」の検討や地域エネルギーを活用した新たなビジネスに取り組み事業者の支援にも取り組んでいきたい。

♥つなげよう脱原発の輪 上越の会

代表：植木史将 (090-4962-9633)

フェイスブック、ホームページ、随時更新しています！

カンパ募集中です

当会は皆様からのカンパで運営されています。ご協力よろしくお願いします。

ゆうちょ銀行から…11260-13169471

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会

ゆうちょ銀行以外から…ゆうちょ銀行・仔コジ(一

八)・普通預金・1316947

名義：つなげよう脱原発の輪 上越の会